

社民党だより

2023年1月
第79号

社会民主党喜多方耶麻総支部
喜多方市松町大坂字真高修一九三六三九
TEL・FAX 〇四一・三二一九〇

『社会新報』
を讀みましよう。
タブロイド判
8ページに
対談記事が満載
購読料
1ヶ月720円

分断の時代から平和で連帯する時代へ

今年
こそ！

市民の

暮らしが一番

社会民主党
喜多方耶麻総支部
代表 齋藤仁一

昨年の参院選では多くの支持を頂きありがとうございました。本年も「市民生活の安定が大切」を念頭に活動を行ってまいりますので皆様のご支援を引き続きお願い申し上げます。ロシアとウクライナの戦闘は二年目となりましたが、以前にも増して世界中で経済や軍事面での分断が繰り広げられていることを捉えておかなければなりません。日本においても「ウクライナ（原発事故）」のことは福島の問題、「オキナワ（辺野古や南西諸島）」のことは沖縄だけの問題であるかのよつに分断させられています。分断の時代から平和で連帯する時代へと変えて行かましよう。

安心して

暮らせる社会を

女性会議員喜多方支部
議長 田部英枝

新型コロナウイルスの感染が収まらない中、私たちの生活は、物価高、年金の引き下げ、昨年10月から高齢者の医療費が負担増になり、若しくなる一方です。しかし自公の政治は、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮によるミ

サイル発射等を理由に国民に危機感をあおり軍事費を5年後に11兆円にすること、敵地攻撃能力の保有など憲法破壊と透ましい軍拡と軍事大国への道を突き進んでいます。戦争を止め軍事大国にしないこと、平和外交、多国間の枠組みの中で平和の構築をしていくこと、安心して暮らすことができる雇用と福祉と教育が充実した社会の実現に向け「がんばりに平和くらしが一番」。

4月の統一自治体選挙には私たちの声を反映する議員を一人でも多く当選させるため全力を挙げていきたいと思います。

軍備強化より 食糧の安定を

全日本農民組合
田中 勉

畜産は危機的状況にある。世界の物流が滞り、田安で穀物は異常な値上がり伝染病の防疫負担と重なり経営を圧迫、高騰対策援助が実施されているが物価上昇には追いつかない。次々にリタイアが始まっている。耕種農業も例外なく肥料や燃料生産資材高騰で生産意欲を喪失させ、こうした状況は関連事業者の減退になり食糧供給を不安定化させる。また食料品の価格高騰は生活困窮者の食の権利さえ奪われている。安全で安定した食糧の供給対策を望む。

生活実態からの 要求作りを

社青同喜多方支部
委員長 齋藤勝則

原油など資源価格の上昇や急速な田安による消費者物価が上昇し、国民生活や中小企業の経営に大きな影響が与えています。一方で、田安による輸出や海外事業からの収益増加により、法人企業の経常利益は史上最高益となつています。2023春季生活闘争では、連合は5%以上の賃上げに取り組み方針を確認しています。一人ひとりが自らの生活実態に基づいた要求となるよう、実態を話せる場作りを意識して今年も頑張ります。

安心社会に 向けて

耶麻喜多方地区博合会
議長 齋藤賢司

長期におよぶ新型コロナウィルス感染症は未だ収束の兆しは見えず、それによる収入の減少など社会問題となつていきます。このよつな状況にあつても社会や経済を持続的に成長させる為には、全ての働く者の底上げ、底支え、格差是正が必要であると考えます。目指すべき社会像「働く事を軸とする安心社会」を掲げ、働く事に最も重要な価値を置き、自立と支え

合いのできる社会の実現に向け今後も取り組んでまいります。

安心して 生活ができる 社会を 実現させる為に

耶麻喜多方地区
高齢退職者連合
会長 芥川久

コロナが第八波に入っている中で、三年ぶりに通常総会を開催しました。世界的には、ロシアのウクライナ侵攻や、北朝鮮の続々ミサイル発射など、危険さ変わりない状況となつています。国内では岸田内閣が誕生し、八年以上続いた安倍、菅内閣の官邸主導から「新しい資本主義三問く力」など、変わつたかに思われましたが、コロナの対策はなんら新たなものは無し、物価上昇等にも全く対応しないなど、看板倒れになつており、自分の延命だけを考えています。

我々、年金生活者には年金の引き下げ、医療費の個人負担増し、生活が苦しい事など何も考えていません。これらを打破するには、政治の仕組みを変えなければなりません。我々の代弁者を多く国会に送り込む事が大変重要になります。そのためには、野党に頑張ってもらつてほしいです。期待しています。